

平成 28 年 町長年頭所感

新年明けましておめでとうございます。

昨年は葉山町制施行 90 周年のとても大きな節目を迎え、町民の皆様をはじめ、多くのご関係の方々にお力をいただいた年でした。町史の発刊やさまざまなイベントの開催など、多くの葉山を好きな人々の力と心が一つになる機会として、そしてこれからの葉山を創造する機会として、1 年を終えられたことに心から感謝申し上げます。また、具体的な政策でも、一昨年の 6 月から開始したごみの全町無料の戸別収集と資源ステーションは、開始から 1 年半、大きなリバウンドはなく、当初の 20% の減量率は増減しながらも変わらず維持しており、小さくても一つになる町、葉山の可能性が証明できました。これは本当に嬉しいことで、町民の皆様のモラルや意識の高さ、その町民力に敬服しております。そのご努力にこたえるべく、役場としても収集と処理体制のコスト削減、環境負荷軽減に向けた、新たな仕組み構築に臨んでまいります。

さて、本年は昨年に引き続き、政策テーマを「健康」として、身体 の健康、心の健康増進に取り組みます。昨年は各種検診の補助を増やしたり、体力測定会を開催したり、チェックする健康が主でしたが、本年からは町民の有志に制作いただいた葉山体操の普及や介護予防の体操や運動の普及、生活習慣の改善を促すような講座やイベントを増やして、具体的に暮らし方を改善していただくような取組みを増やしていきたいと考えております。

次に、行政内部におきましては、4 月の機構改革以降、さらにお客様へサービスを向上できる改善を続けなければいけないと引き締めております。本質的なサービスと組織力の活性、向上へ、職員一人ひとりが「発信する力を養う」その機会を講じてまいりたいと考えております。広報力の強化はもちろんのこと、昨年の夏から国内でも珍しい自治体インスタグラムの取り組み、そして、そのオフ会を 10 月に開催したように、写真を通じた発信、また、動画による発信にも力を入れなければいけません。そして、職員一人ひとりが自己表現する機会を増やすことで、コミュニケーション力の強化、町役場の元気アップで、町民の皆様へのサービス向上に尽くしてまいりたいと思います。

最後に、私自身も、今後は東京オリンピック 2020 の成功へ向けて、セーリング競技をしていた首長として、ハードではなく、ソフトの面において自身の経験を有効に活用して、町外との交流や神奈川県への協力を積極的に行う責任も感じております。これらの取組みを推進していくことで日本ヨット発祥の町の誇りを高めてまいります。

一つになれる町、葉山の可能性を多いに膨らませ、彩りを豊かに、町の価値向上に全力で取り組んでまいります。本年もなにとぞ、皆様のお力添えのほどよろしく願い申し上げます。

平成 28 年 1 月 7 日

葉山町長 山梨 崇仁